

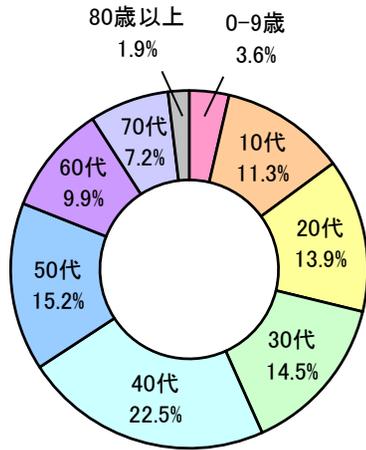
日中文化交流協定締結40周年記念 特別展「三国志」

アンケート集計結果

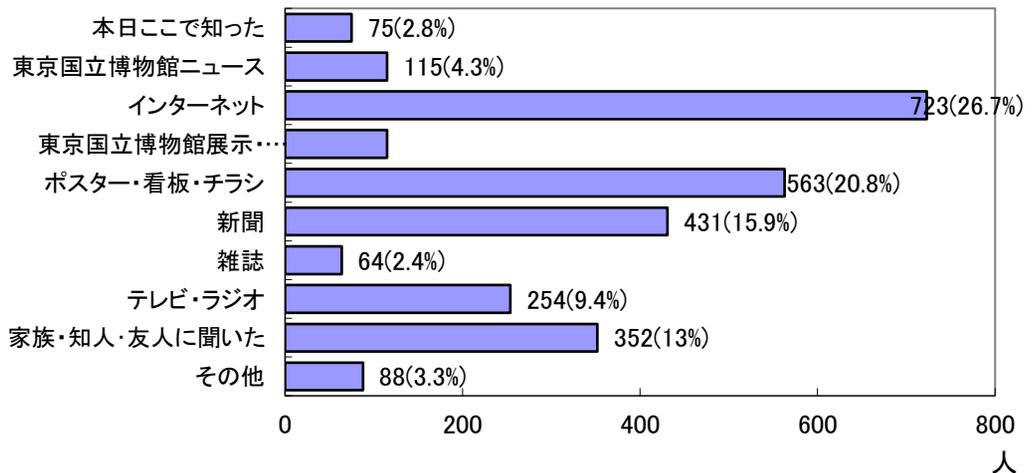
開催期間：令和元年7月9日（火）～令和元年9月16日（日）（62日間）

回答者数：1,823人（総入館者数：337,639人 アンケート回収率：0.54%）

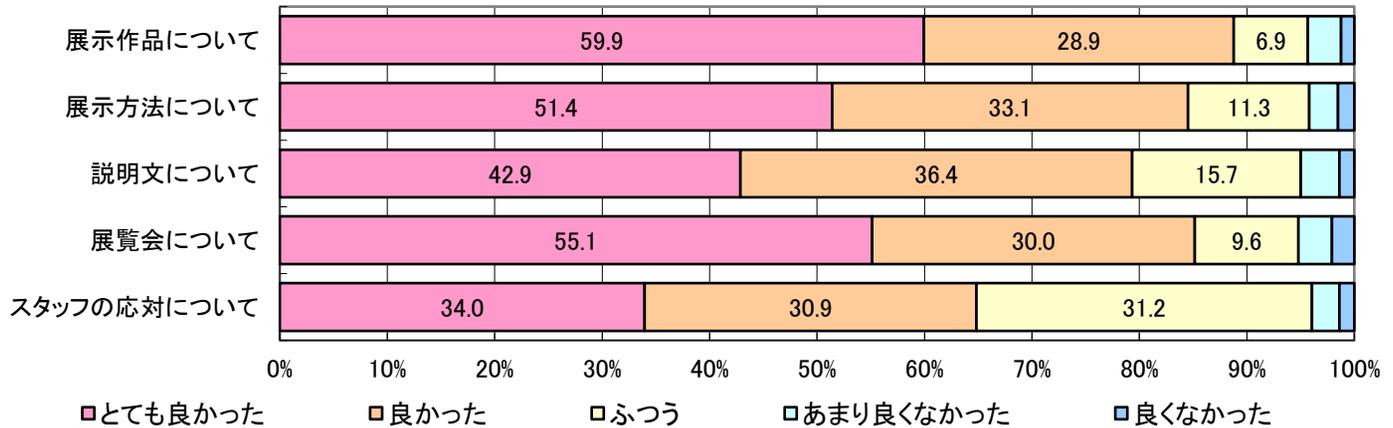
①アンケート回答年齢層



②認知経路（複数回答）



③展示に関する満足度



④主な意見・感想

- ・空間演出、実物展示双方の迫力があり、素晴らしい展覧会だった。
- ・特定の分野への偏りが少なく、演義、考古学研究の成果、関帝信仰等バランスのとれた展示品、解説で大変満足した。
- ・現地でも観覧がし辛い曹操高陵の文物を見ることができ、大変良かった。
- ・音声ガイドの内容を、CDなどで販売してはどうか。

注：上記数字は以下の通り

	あまり良くなかった	良くなかった
展示作品	3.1	1.2
展示方法	2.7	1.5
説明文	3.6	1.4
展覧会	3.1	2.1
スタッフの対応	2.6	1.4

(%)

本展は、「リアル三国志」を合言葉に、漢から三国の時代の文物を最新の成果によって読み解きました。2世紀末、漢王朝の権威がかげりをみせるなか、各地の有力武将が次々に歴史の表舞台へと躍り出ました。そうして魏、蜀、呉の三国が天下を分かち、新時代へと向かう大きなうねりとなりました。近年、三国志をめぐる研究は曹操高陵（そうそうこうりょう）の発掘など空前の活況を呈しています。それらは実物ならではの説得力と、歴史書や物語をしのご迫力があります。こうした考古資料を多く展示した今回の特別展では、当展覧会には、30万人を超える方に御覧いただきました。

アンケートの結果、展覧会に対して85.1%の方から「とても良かった」「良かった」との好意的な意見をいただくことができました。

その一方で、撮影可能の範囲が多いことによる音や滞留を抑えてほしいという意見や、館内の空調が効きすぎて寒いとのご意見もいただきました。また、図録の電子書籍化、音声ガイドの販売を求めるとのご意見もいただきました。

今後も来館者の皆様よりお寄せいただきましたご意見・ご感想を参考に、観覧環境のより一層の充実に努めて参ります。